

平成30年度 全体会 議事まとめ

	活動報告及び計画	報告内容	質疑等
定例会及び研修会	<p>【昨年度定例会】 第1回:平成29年7月20日(奄美市名瀬) 第2回:平成29年10月19日(〃) 第3回:平成30年1月18日(〃) 研修会:障がいのある人の住居について(平成29年10月5日)(株)アーバンエチュード 代表取締役:中武功見氏</p> <p>【今年度定例会】 第1回:平成30年7月19日(龍郷町) 第2回:平成30年10月18日(瀬戸内町) 第3回:平成31年1月17日(宇検村) 研修会:検討中</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の実務者が参加しているが、一個人としての参加にとどまっている状況があり、出席者は定例会での情報を各部会や、関係する機関に伝えるような取り組みを検討する必要がある。 各専門部会の報告は有効だと感じたが、各部会の横のつながりをどのように構築していくか今後の課題である。 事前に資料を配付したり、パワーポイントを使用、各部会ごとに意見交換することで話し合う意識が高められた。しかし、それを協議するまでは至らず、さらに検討が必要である。 参加人数が多くなると、会議形式では意見が出しにくくなるので、グループワークと併用しながら工夫が必要だと感じた。 地域のバリアフリーについて、公共施設のチェックを行ったが、今後は幹線道路のトイレ等地域の施設に広げていきたい。 住宅問題について研修会の内容を深めて、「生活サポートシート」の具体的な活用について協議していく。 	
専門部会活動報告及び計画	精神部会 (毎月開催)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題として、障害のある人の住宅確保の問題を提起し、研修や不動産関係者との話し合いにつなぐことができた。 福祉サービスの申請から決定までの期間の目安について課題提供し検討した。 ヘルパーとの交流会を実施し、精神障がいへの理解、かかわり及び対応について考える場を作った。 地域の支援者とのコラボの場を検討していく。 	(質問・意見) ①サービス事業所や地域の資源一覧等、この数年で事業所が増加しているため、情報がまとまったガイドブックを作製できないか？ホームページもあるが、冊子として利用者も手に取れるようなものが便利。今年度は難しくても次年度以降にでも計画してほしい。
	相談支援部会 (2か月に一回開催)	<ul style="list-style-type: none"> 就労支援事業での体験利用ができるシステムについて課題提案。 相談支援に関わる悩みや課題を共有し、各事業所での考えるだけでなく部会を通して全体共有ができた。 今年度から、部会とは別に事例検討会を隔月で開催し、相談支援専門員のスキルアップを目指す。 	(事務局より) 「はーとふるガイドブック(平成24年発行)」ではプロジェクトチームを作り、ある程度の期間や予算をかけて取り組んだ経緯がある。事業所や資源は増えてきているので、今後の課題として検討が必要になる。就労支援事業所については、情報シートがあり冊子にも出来る状態であるが、他に資源については検討が必要。
	子ども部会 (年3回開催)	<ul style="list-style-type: none"> 小部会として児童発達支援管理責任者の情報交換会を開催し、現在の困りごと等を共有することができた。 福祉と教育の連携についてアンケートを実施し、教育現場との情報交換をすることができた。 各地域での部会開催、障がい理解の拡大、福祉と教育の連携の具体的方策の検討が今年度の課題。 	
	就労支援部会 (年4回開催)	<ul style="list-style-type: none"> 開催頻度を増やし、情報共有や資質向上のための研修会を開催した。 事業所の情報シートの更新 事業所運営について、他の事業所の取り組みを知り、新しい情報の共有を図った。 サービスを行う上で障がい特性について学ぶ機会を設ける。 	
	サービス管理責任者部会	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定ガイドライン(案)や後見制度に関する意識づけを行うことができた。 地域で生活(地域移行)する上での支援体制を検討する部会への改変を行い、今まで障がい福祉にかかわりの少なかった機関を含めて協議する場にする。 	サービス管理責任者部会 ⇒地域生活部会へ改編
その他	障害者差別解消支援地域協議会について	8月、2月に開催 行政機関のみならず、弁護士、商工会議所、運輸関係等にも参加してもらい、合理的配慮のあり方、相談対応マニュアル(日弁連作成)の確認を行った。	今年度7月から、鹿児島へのフェリー運航会社の精神障がい者への減免制度が適用されることを踏まえ、交通機関関連にも広く呼びかけ、制度のついて周知を行きたい。
	障害者虐待防止に関して	担当者連絡会議を8月に開催 各行政窓口において、虐待の認定・養護者への支援における対応の確認を行った。	
	ぴあリンク奄美の活動報告と計画	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村における庁舎等のバリアフリーウォッチングの実施 協議会事務局として、専門性の確保・質の向上に寄与する研修や支援が必要 定例会の前に部会を開催するように進めることで、課題の集約ができた。 全体会や定例会において、パワーポイントを使用した説明場面を作ることで報告内容をわかりやすく図ることができた。 ホームページの会やイベントごとに更新したり、イベントの案内をすることで、速やかな情報提供ができた。 支援者の情報交換や共有の場としての設定を検討していく 	(質問) バリアフリーウォッチングについて、障がいのある当事者から自分たちも参加したいという意見がある。以前は、行政の土木関係等も含めて行ったことがある。そうすることで啓発や点検にも繋がるのではないかな。 (事務局より) バリアフリーウォッチングについては、差別解消協議会でも意見が出ている。今年度は、島内の幹線道路にある公共トイレの点検を検討しているが、民間の建物も検証してほしいという意見もあり今後の協議が必要である。当事者にも協働してもらいながら実施できればと考えている。